

図表 13 防じんマスクの分類

	液体粒子用	個体粒子用	粒子捕集効率(%)
使い捨て式防じんマスク	DL1	DS1	80.0以上
	DL2	DS2	95.0以上
	DL3	DS3	99.9以上
取り換え式防じんマスク	RL1	RS1	80.0以上
	RL2	RS2	95.0以上
	RL3	RS3	99.9以上

D：使い捨て式（Disposable） R：取替え式（Replaceable）

L：液体粒子による試験（Liquid） S：固体粒子による試験（Solid）

1,2,3は粒子捕集効率の区分

図表 14 防じんマスクの選定ポイント（一例）

「必ず遵守すべき選定基準」

確認事項	判断のポイント	“必ず”以下のように選択する必要があるもの
①粉じんの種類又は作業場所	廃棄物焼却施設・ダイオキシン類	取替え式（R）かつ捕集効率区分が3
	放射性物質による汚染区域	
	溶接ヒューム	捕集効率区分が2以上のもの
②管理濃度	管理濃度が0.1mg/m ³ 以下	捕集効率区分が2以上のもの
	管理濃度が0.1mg/m ³ を超える	捕集効率区分が1以上であればよい
③オイルミストの有無	オイルミスト等が混在	液体粒子用（L）
	オイルミスト等が混在しない	固体粒子用（S）又は 液体粒子用（L）

「事業者判断による選択基準」

確認事項	判断のポイント（一例）	“事業者の判断で”選択するもの
④取扱量・換気状況など	多量の取り扱いにより 多量のばく露のおそれがある	できる限り取替え式（R）を選択する。
	少量しか取り扱っておらず、 局所排気装置による排気・換気が 十分である	コストや管理のしやすさを踏まえ、 使い捨て式（D）を選択してもよい。
⑤作業頻度	定常作業	できる限り取替え式（R）を選択する。
	非定常作業	コストや管理のしやすさを踏まえ、 使い捨て式（D）を選択してもよい。
⑥取扱物質の有害性	発がん性があるなど有害性が高い	できる限り取替え式（R）を選択する。
	非致死性であるなど 有害性が比較的低い	コストや管理のしやすさを踏まえ、 使い捨て式（D）を選択してもよい。